

【研修の報告】

人間文化学部健康科学科1年 A.Y.

今回の語学研修では、2週間というとても短い期間でしたが、大きく異なった環境で自分や友達、ハワイのこれまで知らなかった面をみることができたと思います。これまで読み書きをメインに英語を勉強してきた私には、つたない英語でも自分の考えを発信する大切さがよくわかりました。

語学研修でハワイ、と初めに聞いたときは観光地だから日本語で通じるのでは、と思いためらっていました。ホームステイでもない、大学の授業も午前中だけのプログラムで本当に自分の力になるのか疑問でした。

今は行って本当によかったと思っています。ホテルでもエレベーター内やフロントのスタッフと会話できます。午後が自由行動だからこそ、自分で調べてバスで遠出することができました。つまり、自分から行動するか、しないかが充実度の大きな違いになるだろうということです。もちろん研修に参加すれば生の英語に触れる機会がありますが、飛躍的に英語ができるようになる、とまではいかないでしょう。2週間という時間の制約はありますが、自分から話しかける、あいさつするように努力して、経験値を上げたことはこの研修を通して私が得たもののひとつです。

また、ハワイをはじめとするポリネシア文化に触れたことも貴重な経験でした。博物館や美術館で日本と異なる文化を学び、大学ではフラを体験しました。フラを教えてくれた先生の、「自分が誰であるか、どこからやってきたのか常に心にとどめておきなさい」という言葉に、あらためて日本の文化について誇りを持って紹介できるよう勉強しなくてはいけない、と気付かされました。私は健康化学科なので、アメリカや、ハワイでの健康に対する姿勢やサプリメントに対する考え方を直接聞くことができたのも大きな収穫だったと感じています。

日本に帰った今、できるだけ自分の考えを発信できるようにすること、ハワイの友達と英語でコミュニケーションをとること、そして自分や相手の文化を尊重すること、を心にとめて後悔しない毎日をおくろうと思っています。